

令和5年度 第1回ひなたの出会い・子育て応援運動推進会議「出会い応援部会」  
議事概要

- 1 日 時 令和5年7月31日（月） 13:30～15:00
- 2 場 所 宮崎県防災庁舎51号室
- 3 出席者 一般社団法人宮崎県商工会議所連合会  
宮崎県市長会  
宮崎県町村会  
一般社団法人高等教育コンソーシアム宮崎  
宮崎県商工会連合会  
宮崎県森林組合連合会  
宮崎県漁業協同組合連合会  
公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会  
宮崎県結婚支援事業受託者  
学生委員（3名）  
宮崎県

4 議 事

- (1) 「ひなたの出会い・子育て応援運動」の推進
- (2) 今後の取組（県の関連事業等）
- (3) 意見交換（各団体の取組状況等）

※以下意見交換の発言要旨及び承認事項

（宮崎県市長会）

都城市では、人口減少対策の1つとして、出会いの場を増やす取組を行っている。しかし、イベントで知り合い、マッチングしてもその後が続かない傾向にあるため、アフターフォローとして、市内企業の協力を得て、カップル向けの特典パスポート事業を考えているところ。

（宮崎県町村会）

国富町では、みやざき結婚サポートセンターの補助事業を実施している。過去、婚活イベントを開催していた時期もあったが、参加者が集まらず現在は実施していない。

今後の取組として、出会いの機会となるイベント等を開催したいと思うが、参加者が集まらない状況から、婚活イベントへの参加ハードルが高いのではないかと考えている。

農業者との出逢いイベントなど対象業種を絞り、交流機会を増やせないかと考えている。

(高等教育コンソーシアム宮崎)

婚活が前面に押し出されることで、抵抗感を持つ人もいると感じる。関係人口などという言葉のようにマイルドな表現で、交流イベントを開催してはどうか。

(宮崎県商工会連合会)

地域人口が非常に減少しており、商工会単体で事業を行うのは厳しい状況にある。

各商工会、もしくはその地域と連携することが必要になると思う。

(宮崎県森林組合連合会)

例年7月頃に4つの森林組合が集まり研修・交流を行う機会がある。その際に、何か取組ができる可能性がある。

(宮崎県漁業協同組合連合会)

県内の会員漁協との交流イベントを開催している。関係者だけの集まりとなっているが、漁業者と他の業種の方との交流等ができないか検討してみたい。

(日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会)

子育てについて、いくつか取組を実施しているが、出逢いについての取組はないところ、今後、えれこっちゃ宮崎などとの連携の可能性あるのではないかと感じたところ。

また、広報について、一般の方の目につくSNSを中心としたものを積極的に取り入れた方が効果的と感じる。

(みやぎき結婚サポートセンター)

これまでの136組の成婚には、縁結びサポーターというボランティアの力が大きいと感じる。マッチングした後のサポートはとても重要。

一方、出逢いの機会を活用出来ていない方やコミュニケーション不足で交際継続に至らない方も多数いるため、サポートのあり方が一番の課題と感じている。

(サスティア(株))

婚活に関する情報提供の方法は、今後改善の余地があると感じている。

また、現在宮崎市を中心に婚活イベント等を実施しているが、都城市、延岡市からの参加も多いので、各地域の協力を得て、宮崎市以外の地域でも婚活イベントが多数開催できると、婚活の間口を広げることができると思っている。

(学生委員)

少子化対策として若い世代への「プレコンセプションケア」を行うことが重要。子どもを授かりたい人が、身体の元気な若いうちから自分の健康について学び、正しい知識を得ることで、将来の健やかな妊娠・出産につながる。

若い世代へのアプローチとして、自然と目につくインスタのストーリーズやその他SNS広告を展開することが有効と考える。

(学生委員)

少子化対策について、子どもが出来た後の長期的な経済支援があることで、結婚の意欲や子どもが欲しいという願望を持つ若者が増えると考え。

少子化対策に関して、若い世代の声が行政に届いているか疑問を感じる。少子化対策について検索しなければ出てこないし、若い世代に情報は届いていない。今、中学生・高校生は学校で使用するタブレットを1人1台持っている。若い世代の意見集約に学校のタブレットを活用するのも良いと思う。

(学生委員)

少子化対策について、経済面での支援が多い印象。将来子どもを産みたくないと考える若い世代には「自分の時間が減る」ことをその理由にあげる人がいる。このため、「完全親休業日」として、家事育児から解放される日を作る制度を設け、自分の時間も大切にできれば、若い世代の育児に対する考えが変わるのではないだろうか。

婚活については、オフ会のように同じ趣味の人が集まるイベントであれば、話題の心配をする必要がないので、安心して参加できると思う。